

## ●合唱祭26日(金)を成功させよう。「いい顔」で歌おう。♪#♭

伝える 届ける 響きあう

★前日は6限で終了 ★講堂の座席を確認する。

## 【26日(金)の日程】金①～③授業

11:35～12:20	昼食
12:10	講堂入場開始
12:30	点呼完了
12:35～12:45	開会式
12:50～14:00	前半発表
14:10～15:20	後半発表
15:25～15:40	千田保育園発表・全体合唱「勇気100%」
15:40～16:00	閉会式 ※清掃別途指示

## 【2年生 発表順と曲目】

発表順	クラス	曲目
2	8組	道
4	4組	虹
7	7組	レ・ミゼラブル
10	3組	青い鳥
12	5組	RAIN
13	9組	言葉にすれば
14	2組	いのちの名前
16	1組	青いベンチ
18	10組	Seasons of love
19	6組	花束を君に

## ●冬季休業前後 学習時間 学習時間と1月進研模試との結果相関強し クラス格差出始める

・従前より言われていることですが、5教科に対応するためには、**まずは「量」**です。一定の時間がどうしても必要になります。この「0学期」に「量」を確保していこう。→ そのためには

①隙間時間の利用(寸時惜しむべし) ②朝型への切り替え ③課題への早めの取り組み

12月18日(月)～12月24日(日)	最高クラス	28.4時間	学年平均	25.7時間
12月25日(月)～1月7日(日)	最高クラス	28.5時間	学年平均	23.5時間
1月8日(月)～1月14日(日)	最高クラス	23.3時間	学年平均	21.1時間

▼「記録」が提出できていない人=計画性がなく、振り返り(分析力)ができない人(である傾向強い)

## ●冬 土ゼミ開始 申込締切 本日まで 積極的に参加

- ・5教科への対応が本格化
- ・2月マーク(2月11日・12日)対応の講座が用意されている。
- ・開催期日 4回 ①1月27日 ②2月3日 ③2月17日 ④2月24日

## ●難関大学志望者集会(保護者進路講座) 2月9日(金) 申込締切29日(月)

・講師:豊田基行先生(駿台予備学校 広島校 校長)

※「受験生」としての自覚を新たにしよう。難関大志望者に限らず積極的に参加しよう。

●平成30年度大学入試センター試験の概況 その1 ベネッセ資料

科目	今年の傾向は？	来年に向かって
国語	<p>— 評論で図に関する対話の問い、古漢で対話形式の問題文が出題。難易は昨年並 —</p> <p>問題文の分量は全体として昨年と同程度。昨年同様、文章全体の展開や主題を把握する力が求められた。評論で図に関する対話形式での設問が、古文・漢文で問答・対話形式の文章が出題され、全体に「言語活動の充実」を意識した出題であった。難易は昨年並。</p>	<p>センター試験では、傍線部付近の部分的な理解だけでなく、表現や論理展開から問題文全体の趣旨・主題の理解を問う設問が出題されています。細かな部分の読みとりだけでなく文章全体の構成・展開を把握したうえで、選択肢を丁寧に吟味する習慣を身につけましょう。</p>
数学Ⅰ・A	<p>— 複数の大問で論証の根拠を考察する問題が出題された。難易は昨年並 —</p> <p>大問数、配点は昨年と同様。問題量は昨年よりやや減少。答えを求める根拠として記号や数学的性質を選択するような出題が複数あり、思考のプロセスを重視する傾向が見られた。難易は昨年並。</p>	<p>今年も数学Ⅰ・Aの各分野から幅広く出題されました。目新しい問題も複数出題されましたが、まずは基礎・基本の定着を心がけ、苦手分野をつくらないようにしましょう。その上で、初見の出題があっても、与えられた誘導の意図を考えながら問題を解くことができるように演習を積んでおきましょう。</p>
数学Ⅱ・B	<p>— 1 ラジアン の定義や微分と積分の関係を問う問題が出題された。難易は昨年並 —</p> <p>大問数、配点は昨年と同様。問題量、計算量は昨年並。全体を通して各分野の基本事項が出題され、第1問では1 ラジアン の定義を問う問題が、第2問では微分と積分の関係が問われた。難易は昨年並。</p>	<p>過去には難易度の高い問題も多く出題されましたが、昨年からは比較的取り組みやすい出題となっています。今年はい部で目新しい出題もありましたが、問われているのは各分野の基本となる公式や定義の理解でした。そのため、日ごろから教科書の内容をもれなく理解することを意識して学習しましょう。</p>
英語筆記	<p>— 物語が日誌形式に。内容を大づかみする力が引き続き求められた —</p> <p>SF風の物語が日誌形式で出題され、グラフや広告、論説など、素材や目的に応じた読み方が引き続き求められた。主題の特定など全体の概要を問う問題が出題され、英文の内容を素早く大づかみする力が、昨年同様求められた。難易は昨年並。</p>	<p>センター試験では長文の占める割合が高く、ここ数年は、英文の概要を問う出題が多くなっています。日頃から長文読解の基礎基本となる語彙や文法の力をつけるとともに、多様なジャンルの英文に触れ、要点を押さえながら読むスキミング力を身につけましょう。</p>
英語リスニング	<p>— 実践的な英語力に加え、音声と文字情報の同時処理が鍵。昨年より難化 —</p> <p>音声情報とイラストを含む文字情報（地図）を組み合わせて答える問題や、討論の場面が出題されるなど、引き続き実践的な英語力が求められた。形式は昨年踏襲ながら、選択肢に工夫がなされた問題、複数情報の整理が必要な問題も多く、昨年より難化。</p>	<p>場面や状況を推測して応答を選ぶ問題から、概要把握力を要する問題、音声と文字情報を組み合わせて解く技能融合型の問題まで、幅広い力を求める出題がされています。多様な場面設定の英文の聞き取りや、情報を素早く整理・取捨選択する練習の積み重ねが、得点アップの鍵です。</p>

※理科・社会は、次号で紹介予定